

コンピュータチェック事例コード

48SJ100016201 その他 12事例グループ化

コンピュータチェック内容

診療行為又は医薬品と傷病名の左右部位が不一致の場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

診療行為又は医薬品と傷病名の左右部位が不一致の場合、入力誤りを確認するためにチェックを実施しています。

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数

2 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)

コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

➤ 全国の査定・返戻割合 68.23%

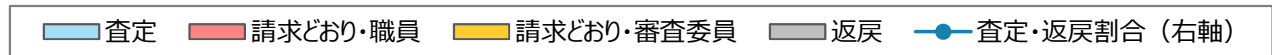
➤ 検証対象都道府県 40

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	宮崎、山口、和歌山、広島、愛知、群馬、静岡、新潟、三重、千葉、神奈川、青森、東京、兵庫、佐賀、滋賀	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	宮崎、群馬、広島、和歌山、愛知、佐賀、静岡、兵庫、山口、神奈川、新潟、三重、長野、千葉、滋賀、東京	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	長野、新潟、岩手、香川、熊本、大分、島根、青森、群馬、茨城、千葉、埼玉、高知、兵庫、鹿児島、愛知	//

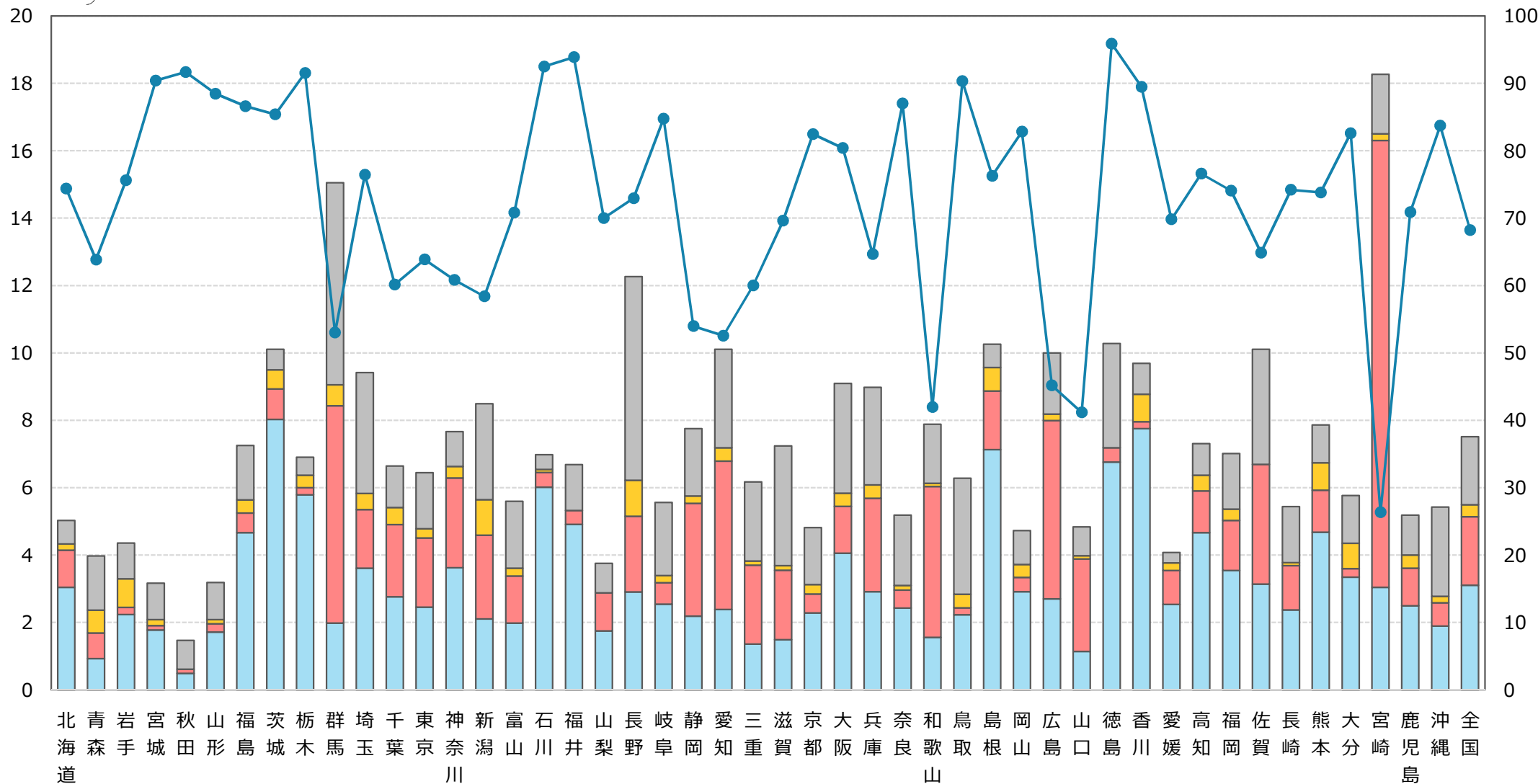
※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	当該コンピュータチェックの内容に該当	10,184件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	6,949件
検証を必要とする審査	請求どおり	3,235件

目視1万件当たり
該当件数



2026年3月～2026年5月審査分 (%)



該当件数	324	47	41	73	12	26	112	267	130	266	607	409	1,287	717	137	48	80	49	30	207	105	252	826	100	102	154	1,209	586	77	81	31	59	99	259	51	73	95	53	47	374	74	62	126	69	186	79	86	10,184
請求どおり件数	83	17	10	7	1	3	15	39	11	125	143	163	465	281	57	14	6	3	9	56	16	116	392	40	31	27	237	207	10	47	3	14	17	142	30	3	10	16	11	97	26	16	33	12	137	23	14	3,235

【該当件数】当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数